

基本理念：すべての市民で支えあう福祉のまちづくり

～つなぐ・つながる・つなぎあう～

あったかハート

加西市社会福祉協議会広報誌

No.364

令和2年7月1日発行

～マスキでつながる地域の輪～

2ページに記事を掲載しています。

発行：社会福祉法人 加西市社会福祉協議会
〒675-2303 加西市北条町古坂1072番地の14
(加西市健康福祉会館内)



☎ 0790-42-8888 ㊚ 0790-42-6655
URL: <http://www.kasai-syakyo.com/>

※あったかハートは、共同募金配分金の一部で発行しています。

手作りマスクのご提供ありがとうございました

新型コロナウイルス感染防止対策として、以前より、手作りマスクの製作をボランティアに呼び掛けていましたが、緊急事態宣言の解除を受けて、子どもたちの外出の機会が増えることを見越して、幼児用のマスク作りとその材料提供を募集しました。大人用のマスクは、比較的普及しはじめたことから、市内のこども園や保育園に通う3歳児から5歳児までを配付対象とし、1,000枚を目標に広く協力を呼びかけました。

新聞で紹介されたこともあって、5月末には2,000枚を超える子供用マスクの提供がありました。

市内の多くのボランティアの方々にご協力いただき、匿名で郵送してくださった方もありました。また、市内企業のほか市外の事業所からも材料の提供がありました。提供されたマスクは、アルコールで消毒して1枚ずつ袋詰めし、市の教育委員会を通じて市内の認定こども園や保育園へ、大人用マスクは様々な行事を通じて高齢者にお届けしました。

ご協力いただいたボランティア 約100名

大人用マスク 1,152枚

子供用マスク 2,887枚

(R2.6.15現在)



アルコール消毒し乾燥中のマスク



1,600枚をこども園、保育園へ寄贈



播州織業界の方々からの材料提供



市民の方からのご寄付



子どもさんにもご協力いただきました

郵便でもマスクが届きました

新聞で幼児用マスクについての記事を拝見し、協力させて頂きたく思いました。微力ではありますが寄付させてください。

(一部抜粋)



1 訪問介護

介護・障害サービスを必要とされる利用者様、おひとりおひとりが日々の生活を住みなれたご自宅で安心して送れるようにサポートします。



利用者の方と一緒に肉じゃが料理



利用者の方と一緒に整理整頓

〈身体介護〉

- 食事、入浴、排泄介助など
- 意欲向上のために、利用者と一緒にを行う行為など

〈生活援助〉

- 住居の掃除、洗濯、買い物
- 食事の準備、調理など

利用者の状態の維持や改善・自立した生活につながることを考えてサービスを提供させていただきます。

2 新型コロナウイルス感染予防対策



利用者のお宅にウイルスを持ち込まないよう、安心・安全のための感染予防対策や衛生管理を行い、感染拡大防止に努めます。

安心して利用していただくために！！

- ①利用者と職員自身の検温による健康管理
- ②職員のマスクとエプロンの着用、手指消毒の徹底、必要時の手袋着用
- ③利用者への布マスク配布と着用、手洗いとうがいの声掛け
- ④利用者宅と事業所内での室内の換気、環境整備

緑綬褒章受章

おめでとうございます



高井 典子さん
(北条町横尾)

配食サービス事業の開始当初から、37年にわたり調理ボランティアとして活動されてきました。

阪神淡路大震災での経験から、災害時の炊き出しの必要性を感じ、「ボランティアのつどい」においても尽力されました。「気負うことなく、ボランティア活動は、私にとって生活の一部であり、仲間がいたからこそ続けてこられました」と、長年の活動を振り返られました。「健康を考えた体に優しいメニューで、常に自分がもらったらという気持ちで作っています。調理ボランティアは、誰もができる活動なので、みんなに知っていただき、メンバーになって欲しい」と語られました。

令和元年度 事業報告

加西市社会福祉協議会では、「すべての市民で支えあう福祉のまちづくり」を目標に掲げ、地域住民の方々や関係機関の協力を得て、次の事業を実施しました。

地域支援課 総務担当

法人運営事業では理事会、評議員会、監査会を定期的に行い、適正な法人運営に取り組めました。

また、法令を遵守すべく、定款・その他諸規程を整備しました。

加西市社会福祉法人連絡協議会では、法人後見研修、防災マニュアルの作成、福祉業界の人材確保、地域共生社会の実現に向けた事業等、地域貢献活動に取り組めました。

善意銀行運営事業では、市民の皆さまから寄せられた善意の預託（金銭や物品などの寄付）をお受けし、地域の様々な福祉事業に活用しました。

在宅支援課

介護保険事業、障がい福祉サービス事業、市受託事業の介護予防支援事業・療育支援事業・要介護認定調査、社協独自の生活支援サービス（自費ヘルパー）を実施しました。

職員は、自立支援・重度化防止の視点をもって、利用者が無理なく自分の力が活かせるよう専門的な支援を行いました。

また、必要なサービスが利用できるよう、情報提供や助言を行い、本人の意向を確認（自己決定）したうえで、まごころをこめたサービスを提供しました。

地域包括支援センター

地域包括ケアシステムの推進に向け、「高齢者が、住み慣れた地域で心身ともに自立し、健康でいきいきと安心して暮らせるまちづくり」を目標に取り組みました。

高齢者のみならず、地域住民や民生委員・児童委員、専門機関等から生活・認知症に関する相談を受け、ワンストップ相談窓口として専門的な支援を行いました。個別相談では、家族が複数の課題を抱える傾向が強く、社会資源の不足がみられることから、地域ケア会議を開催し、他機関との連携を図り課題解決に努めました。

また一時相談窓口業務の統合に向けて体制整備に取り組めました。

地域支援課 地域福祉担当

主な取り組みとして、地域福祉活動の推進（はつらつ委員会・いきいき委員会・あったか班）、社会資源の情報収集と発掘（調査）、配食サービス事業、日常生活自立支援事業、心配ごと相談、赤い羽根共同募金運動等を実施し、福祉の向上に努めました。

ボランティア・市民活動センターでは、生涯現役のひとつにボランティア活動を推進し、気軽にボランティアに参加できるよう交流会や話し合いの場を多く設けました。また、若い世代が参加しやすい福祉学習やイベント等を企画し、広報活動に力を入れ、多くの方に参加していただきました。

また、生活支援サポート事業においては、住み慣れた地域で安心して暮らすために、住民主体で日常生活支援及び見守り等を行うように啓発・周知しました。その結果、依頼・協力会員数・活動回数ともに前年度より増加しました。

令和元年度の活動成果としては、住民主体の活動が浸透したことで、地域における支えあい活動がより一層広がりました。



加西市立善防園

多機能型障がい福祉サービス事業所（生活介護・就労継続支援B型）として、生活介護では、創作活動や生産活動に加え、社会体験活動や余暇活動を実施し、利用者の自己決定を促しながら、楽しみを持って生活してもらえようサービスの提供を行いました。

就労継続支援B型では、生産活動の安定化と作業工賃の改正を行いました。その一方で、社会体験活動（園外活動）を実施し、社会性を養う貴重な機会を得ることができました。

令和元年度 決算報告

勘定科目		決 算	構成割合
収 入	会費収入(社協会費・団体特別会費)	6,221,000	1.61%
	寄附金収入(善意銀行)	4,391,792	1.14%
	経常経費補助金収入(市補助金・県社協補助金・共同募金配分金)	43,396,039	11.22%
	受託金収入(市受託金・県社協受託金)	203,271,026	52.81%
	貸付事業収入(市社協貸付金償還金)	22,000	0.01%
	事業収入(配食サービス・転倒予防教室ほか)	6,872,974	1.78%
	介護保険事業収入	65,705,040	16.71%
	就労支援事業収入	3,301,235	0.85%
	障害福祉サービス等事業収入	31,391,083	8.12%
	受取利息配当金収入	3,973	0.01%
	その他の収入	3,332,418	0.86%
	積立資産取崩収入	10,835,400	2.80%
	その他の活動による収入	8,049,161	2.08%
収入合計		386,793,141	100.00%
支 出	人件費支出	284,113,753	71.64%
	事業費支出	34,342,316	8.66%
	事務費支出	29,720,152	7.50%
	就労支援事業支出	3,357,066	0.85%
	貸付事業支出	180,000	0.05%
	分担金支出	32,000	0.01%
	助成金支出	14,174,833	3.58%
	負担金支出	47,000	0.01%
	固定資産取得支出	9,259,312	2.34%
	積立資産支出	7,773,623	1.96%
	その他の支出	404,080	0.10%
	その他の活動による支出	13,083,638	3.30%
支出合計		396,487,773	100.00%
当期資金収支差額合計		△ 9,694,632	
前期末支払資金残高		82,277,280	
当期末支払資金残高		72,582,648	

令和2年度 社協会費納入状況のご報告

令和2年6月15日現在

種 別	件 数	納入金額
戸別会費	12,183	6,091,500
賛助会費	1	3,000
特別会費 (福祉関連施設) (1施設10,000円)	12	120,000
合 計	12,196	6,214,500

【昨年度実績額】

戸別会費：6,091,000円
(12,182件)
特別会費：130,000円(13件)



最終の実績報告につきましては、当協議会のホームページに掲載させていただきます。
市民の皆さまに、厚くお礼申し上げます。

令和2年度 「善意の記念預託」中間報告

令和2年6月15日現在

預託別	件 数	預託金額
戸別募金	5,639	1,506,587
市職員	43	39,838
学 校	5	15,794
保育所・幼稚園	4	9,094
一般・その他	6	16,716
合 計	5,697	1,588,029

【昨年度実績額】

2,176,643円
(7,636件)



高齢者等の総合相談窓口

加西市地域包括支援センター
TEL 42-7522

地域包括支援センターは、高齢者等の皆さんが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるように、さまざまな面から総合的に支えるため、主任介護支援専門員・社会福祉士・保健師等が中心となって、相談支援や地域の医療・介護等との連携を行っています。

※フレイル予防とは、加齢により心身が衰えた状態を予防すること。

中学校区ごとの一時相談窓口は、令和元年度末をもって終了しました。



- 場 所：加西市健康福祉会館内
- 相談受付時間：月曜～金曜日（祝日・年末年始は除く）
8：30～17：15
- 問 合 先：TEL 42-7522
- ◇時間外は携帯電話に転送され24時間対応しています。

認知症相談窓口

認知症かな？気になる物忘れや困りごとがでてきたら、認知症相談窓口までお気軽にご相談ください。

- 開設日：毎月第1火曜日 7月7日㊦ 8月4日㊦
9:00～16:00
- 場 所：加西市健康福祉会館
- 問 合 先：地域支援室 地域福祉担当 TEL 43-1281
地域包括支援センター TEL 42-7522



認知症地域支援推進員が皆様のご相談に対応しサポートします。

新型コロナウイルス特例貸付(緊急小口資金)

地域支援室 地域福祉担当
TEL 43-1281

～新型コロナウイルス感染症の影響で生活資金にお困りの方へ～

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、休業や失業等により生活資金でお悩みの方々に向けた、緊急小口資金等の特例貸付を実施しています。

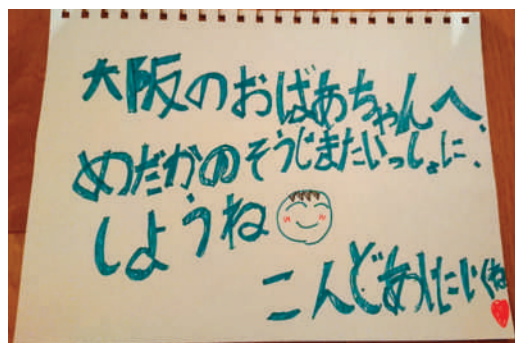
- 限度額：10万円以内
ただし、世帯員4人以上、個人事業主等の要件に該当する場合は20万円以内
- 利率・保証人：無利子、保証人不要
(ただし期日までに償還完了しなかった場合、年3%の延滞利子)
- 据置期間と償還期間：据置期間1年以内、償還期間は据置期間終了後2年以内
- 必要書類：所定の様式、世帯全員分の住民票、顔写真入り身分証明書、送金口座の通帳（コピー）

※緊急小口を利用した上で、それ以降の生活にも不安のある場合は、「総合支援資金」の利用もご検討ください。
詳しくはお問い合わせください。

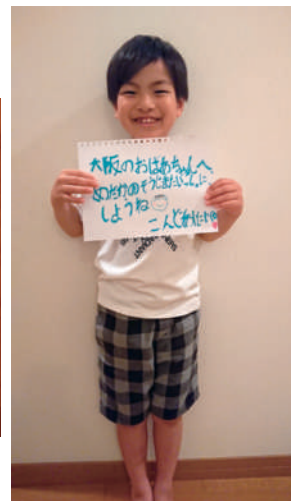
“心をつなぐ” あったかメッセージ ～会えないときだからこそ伝えたい～

コロナに負けるな!!「大切なあの人に伝えよう～」として、メッセージを募集したところ市内在住の井上朋哉くん(小2)が、自粛要請の中でなかなか会えない大阪のおばあちゃんに向けて送ったメッセージを投稿してくれました。

■問合せ:地域支援室 地域福祉担当
TEL 43-1281



井上 朋哉くん(小2)



県民ボランティア活動助成金のご案内 ～ひょうごボランティア基金～

この助成を受けようとするグループ(団体)は、各市区町社協(各支部)への事前申し込み(エントリー書)が必要です。

■受付期間

令和2年7月1日(金)～8月31日(金)

■助成額

上限30,000円(全団体一律同額)

※受理数により決定しますので減額となることがあります。

■問合せ先 加西市ボランティア・市民活動センター
TEL 43-8133

■申請条件

- ①兵庫県内で活動を行っているグループ(団体)
- ②加西市社会福祉協議会に届け出している団体
- ③団体の構成人数が5人以上
- ④年間12日以上(事業)を実施
- ⑤助成対象経費が6万円(消費税込み)以上等

※新型コロナウイルスの影響により、特例の申請条件がございますので、詳しくはお問い合わせください。

○ 新型コロナウイルス出現に伴う、熱中症対策のポイント ○

1 暑さを避けましょう

- エアコンを利用する等、部屋の温度を調整
- 感染症予防のため、換気扇や窓開放によって換気を確保し、エアコンの温度設定をこまめに調整
- 涼しい服装にする
- 暑い日や時間帯は無理をしない
- 急に暑くなった日等は特に注意する



2 適宜マスクをはずしましょう

- 気温・湿度の高い中でのマスク着用は要注意
- 屋外で人と十分な距離(2m以上)を確保できる場合はマスクをはずす
- マスクを着用しているときは、負荷のかかる作業や行動を避け、周囲の人との距離を十分にとった上で、適宜マスクをはずして休憩を

3 こまめに水分補給しましょう

- のどが渇く前に水分補給
- 1日1.2リットルを目安に
- 大量に汗をかいた時は塩分を忘れずに



4 日頃から健康管理をしましょう

- 日頃から体温測定、健康チェック
- 体調が悪いと感じたときは、無理せずに自宅で静養

5 暑さに備えた体作りをしましょう

- 暑くなり始めの時期から適度な運動を
- 水分補給は忘れずに、無理のない範囲で
- 「やや暑い環境」で「ややきつい」と感じる強度で毎日30分程度

善防園だより

加西市立善防園 (多機能型障がい福祉サービス事業所)
〒675-2213 加西市西笠原町172-142 ☎48-3999

園にあじさいが咲きました



園の壁に色とりどりの色紙で制作した「あじさいの花」が咲きました。利用者さんが創作の時間にちぎった色紙を紙皿に張り付けて作りました。思い思いの自由な色使いに利用者さんの個性が出ています。「ちぎった色紙を貼って作るのとても楽しいです」と制作された利用者さんは話されていました。コロナ禍で大変な時期ではありますが、ホッとできるひとときとなりました。



いまだ眼科医院 愛のエコキャップ運動



善防園がエコキャップ運動を始めた平成22年から約10年にわたり”愛のエコキャップ運動”にご協力いただいています。

エコキャップ運動が更に広がっていくようお願いを込めて、これからもスタッフ全員で収集に取り組んでいきますと意気込みを語っていただきました。今回いただいたエコキャップは5kg(2,000個分)です。

いまだ眼科医院の皆さんありがとうございました。



愛のエコキャップ運動は、ペットボトルのキャップ(エコキャップ)を収集し、そのリサイクルで発生した利益を、開発途上国の子ども向けワクチン代として寄付する運動です。

善意銀行だより

令和2年4月16日～令和2年6月15日の受付分 (順不同 敬称略)

氏名	金額
【一般預託】	
高井(2回)	9,261円
安藤公雄	1,000円
西村書店お客様御一同(2回)	7,296円
青雲寮同窓会	12,036円
匿名	100,000円
匿名	6,000円
匿名	2,000円
【給料端数預託】	
柏原歯科医院一同(2回)	2,034円
株式会社邦栄堂社員一同(2回)	2,308円
加西市社会福祉協議会職員一同(2回)	8,922円

👉 温かい善意をありがとうございました 👉
福祉団体及び、ボランティア団体等への指定預託も可能です。

あったかハート No.364 ⑧

秘密厳守

心配ごと相談所のご案内

生活上の困りごとや悩みごとに関する相談所を無料で開設しています。

■開設日：7月9日☎ 8月13日☎ 9月10日☎

■時間：13:30～15:30

■場所：加西市健康福祉会館

■問合先：TEL 43-0303 月～金(祝日除く)9:00～17:00

写真大募集!!

おめでとう赤ちゃん



加西市善意銀行では、市民の皆さまからいただいた善意の預託金を活用し、赤ちゃんの出生時に絵本引換券(1,800円分)を贈呈しています。絵本と一緒に撮影した思い出の1枚を「あったかハート」に投稿してみませんか？

■応募先：地域支援室 総務担当
TEL 42-8888



●ボランティア交流会(相談)のご案内

8月6日☎ 13:30～15:30 加西市健康福祉会館

